

交付図書の訂正について

令和7年12月3日付けで入札公告を行った「磐越自動車道 上川地区道路詳細設計」に係る交付図書に一部誤りがあったため、別添のとおり訂正します。

なお、当社ホームページ掲載の交付図書についても、同日付で訂正したものに改めておりますので、再度、交付図書をご確認ください。

令和7年12月11日

契約責任者

東日本高速道路株式会社 新潟支社

支社長 佐久間 仁

【訂正内容】

- ・入札公告（官報）
- ・入札公告（説明書）
- ・02_特記仕様書（磐越自動車道 上川地区道路詳細設計）

※訂正箇所は、別添「正誤表」をご確認ください。

別添

正誤表

記載内容を次のとおり訂正します。

■入札公告（官報）

対象	訂正前	訂正後
5 手続等 (2)関係書類の取得期間 及び方法 ① 取得期間	入札公示日から 令和7年12月18日（木）まで	入札公示日から 令和7年12月26日（金）まで
5 手続等 (3)参加表明書の提出 期間並びに提出場所 及び方法 ① 提出期間	入札公示日から 令和7年12月18日（木） 16時00分まで	入札公示日から 令和7年12月26日（金） 16時00分まで
7 Summary (4)	Time-limit to express interests : 4:00 P.M 18 December 2025	Time-limit to express interests : 4:00 P.M 26 December 2025

■入札公告（説明書）

対象		訂正前	訂正後
2-2	契約図書の配布期間	入札公告の日 から 令和7年12月18日まで	入札公告の日 から 令和7年12月26日まで
2-3	参加表明書の提出期限	<p>【提出期限】 入札公告の日 から 令和7年12月18日 16時00分まで ※<u>共通入札公告</u> 4-3-1 及び 4-3-5～4-3-11 に示す調達手続に参加するための条件等を十分に確認のうえ提出すること。</p>	<p>【提出期限】 入札公告の日 から 令和7年12月26日 16時00分まで ※<u>共通入札公告</u> 4-3-1 及び 4-3-5～4-3-11 に示す調達手続に参加するための条件等を十分に確認のうえ提出すること。</p>

別添

正誤表

■入札公告（説明書）

訂正前		訂正後																	
業務への取り組み姿勢	<p>次の基準で評価する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">評価基準</th><th style="text-align: center;">配点</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業務理解度 業務実施手順を示す業務フローの妥当性が高い場合に優位に評価する。 業務基盤の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。</td><td style="text-align: center;">10点</td></tr> <tr> <td>実施手順 業務基盤の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。</td><td style="text-align: center;">30点</td></tr> <tr> <td>その他 有益な代替案、重要事項の指摘がある場合に優位に評価する。</td><td style="text-align: center;">20点</td></tr> </tbody> </table> <p>評価方法は次の通りとする。 ①「業務への取り組み姿勢」に記載された内容と、その内容に対するヒアリングを行い、総合的に評価を行う。 ②次の審査基準により、評議者(3名)が評議項目毎に各社を対照的に評議する。 【配点が10点の場合】 ①業務理解度に非常に優れている 10点(相対的に優れている) 8点(普通) 6点(妥当でない) ③各評議者の評議の平均点が評価点となる。(評価点の算定値は小数第4位以下を切り捨てとする)</p>	評価基準	配点	業務理解度 業務実施手順を示す業務フローの妥当性が高い場合に優位に評価する。 業務基盤の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。	10点	実施手順 業務基盤の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。	30点	その他 有益な代替案、重要事項の指摘がある場合に優位に評価する。	20点	業務への取り組み姿勢	<p>次の基準で評価する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">評価基準</th><th style="text-align: center;">配点</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業務理解度 業務実施手順を示す業務フローの妥当性が高い場合に優位に評価する。 業務基盤の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。</td><td style="text-align: center;">10点</td></tr> <tr> <td>実施手順 業務基盤の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。</td><td style="text-align: center;">30点</td></tr> <tr> <td>その他 有益な代替案、重要事項の指摘がある場合に優位に評価する。</td><td style="text-align: center;">20点</td></tr> </tbody> </table> <p>評価方法は次の通りとする。 ①「業務への取り組み姿勢」に記載された内容と、その内容に対するヒアリングを行い、総合的に評価を行う。 ②次の審査基準により、評議者(3名)が評議項目毎に各社を対照的に評議する。 【配点が10点の場合】 ①業務理解度に非常に優れている 10点(相対的に優れている) 8点(相対的に優れている) 6点(普通) 4点(妥当でない) ③各評議者の評議の平均点が評価点となる。(評価点の算定値は小数第4位以下を切り捨てる)</p>	評価基準	配点	業務理解度 業務実施手順を示す業務フローの妥当性が高い場合に優位に評価する。 業務基盤の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。	10点	実施手順 業務基盤の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。	30点	その他 有益な代替案、重要事項の指摘がある場合に優位に評価する。	20点
評価基準	配点																		
業務理解度 業務実施手順を示す業務フローの妥当性が高い場合に優位に評価する。 業務基盤の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。	10点																		
実施手順 業務基盤の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。	30点																		
その他 有益な代替案、重要事項の指摘がある場合に優位に評価する。	20点																		
評価基準	配点																		
業務理解度 業務実施手順を示す業務フローの妥当性が高い場合に優位に評価する。 業務基盤の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。	10点																		
実施手順 業務基盤の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。	30点																		
その他 有益な代替案、重要事項の指摘がある場合に優位に評価する。	20点																		
総額	<p>次の基準で評価する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">評価基準</th><th style="text-align: center;">配点</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・代替案を含めて参考業務規模と大きく乖離した見積である場合は特定しない。 ・提案内容に対して見積が不適切な場合は特定しない。</td><td style="text-align: center;">-</td></tr> <tr> <td>参考業務規模(税込)</td><td style="text-align: center; border: 2px solid yellow;">130百万円</td></tr> </tbody> </table>	評価基準	配点	・代替案を含めて参考業務規模と大きく乖離した見積である場合は特定しない。 ・提案内容に対して見積が不適切な場合は特定しない。	-	参考業務規模(税込)	130百万円	総額	<p>次の基準で評価する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">評価基準</th><th style="text-align: center;">配点</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・代替案を含めて参考業務規模と大きく乖離した見積である場合は特定しない。 ・提案内容に対して見積が不適切な場合は特定しない。</td><td style="text-align: center;">-</td></tr> <tr> <td>参考業務規模(税込)</td><td style="text-align: center; border: 2px solid red;">191百万円</td></tr> </tbody> </table>	評価基準	配点	・代替案を含めて参考業務規模と大きく乖離した見積である場合は特定しない。 ・提案内容に対して見積が不適切な場合は特定しない。	-	参考業務規模(税込)	191百万円				
評価基準	配点																		
・代替案を含めて参考業務規模と大きく乖離した見積である場合は特定しない。 ・提案内容に対して見積が不適切な場合は特定しない。	-																		
参考業務規模(税込)	130百万円																		
評価基準	配点																		
・代替案を含めて参考業務規模と大きく乖離した見積である場合は特定しない。 ・提案内容に対して見積が不適切な場合は特定しない。	-																		
参考業務規模(税込)	191百万円																		
技術提案書に関するヒヤリング	<p>(1)ヒヤリングでは、技術提案書に記載された次の事項について質疑応答を行う。 イ、配賦予定割当技術者の業務経験について ロ、業務の取組姿勢について ハ、総額について ...、参考見積書の内容について (2)ヒヤリング時の追加資料は受理しない。 (3)ヒヤリングは質疑応答を含め60分程度とする。</p>	技術提案書に関するヒヤリング	<p>(1)ヒヤリングでは、技術提案書に記載された次の事項について質疑応答を行う。 イ、配賦予定割当技術者の業務経験について ロ、業務の取組姿勢について ハ、総額について ニ、参考見積書の内容について (2)ヒヤリング時の追加資料は受理しない。 (3)ヒヤリングは質疑応答を含め60分程度とする。</p>																

130百万円

191百万円

別添

正誤表

■02 特記仕様書（磐越自動車道 上川地区道路詳細設計）P.9

訂正前	訂正後															
<p>を参考にして、受発注者で実施内容について協議し決定する。 受注者が希望する場合、発注者が示す活用内容以外の活用内容を検索することができる。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">活用内容</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">活用内容の詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 2px;">出来上がり全体イメージの確認</td> <td style="padding: 2px;"> 出来あがりの完成形状を3次元モデルで視覚化すること。 ・受発注者間協議の省力化を図る ・地元説明および現場案内等での工事説明の理解促進を図る ■施工期間の円滑な協議および調整に役立てる 本業務では、R9年度頃の工事用道路等の情報協議において、使用することを想定している。 </td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">特定部の確認や情報伝達 (2次元図面の確認補助)</td> <td style="padding: 2px;"> 2次元では表現が難しい特定部や3次元の位置情報を視覚化により課題を効率的に伝達できる箇所は、3次元モデルにより関係者の理解促進や2次元図面の精度向上を図る。 本業務では、直轄部の橋梁部と橋梁部の隣接範囲において、直轄部と橋梁シフト部の施工にあたり実際的な施工範囲を確認する。 </td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">施工ステップの確認</td> <td style="padding: 2px;"> 一連の施工工程のステップごとの3次元モデルで施工可能かどうかを確認する。 本業務では、上工部と橋梁部の隣接範囲及び車線シフト部における施工ステップを確認する。 </td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">(参考) 3次元モデル作成の目安</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">詳細度</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">2 0 0 ~ 3 0 0 程度^①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 2px;">属性情報</td> <td style="padding: 2px;">※1 構造形式からモデルへ構造の形状がわかるモデル</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">(参考) 3次元モデル作成の目安</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">詳細度</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">2 0 0 ~ 3 0 0 程度^②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 2px;">属性情報</td> <td style="padding: 2px;">※1 構造形式からモデルへ構造の形状がわかるモデル 3次元形状データが何を表示かを識別する情報をオブジェクトごとに属性情報をして設定する(BIM/CIM 取扱要領「付録資料2 オブジェクト分類」を参照)。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">2-6-2 使用するソフトウェア</p> <p>本業務では、3次元モデルの活用目的に応じてソフトウェアを準備する。3次元モデルの納品ファイル形式については、「BIM/CIM 取扱要領 1-7 データ連携に応じたソフトウェアの活用」表-4による、導入するソフトウェアの選定にあたっては、対象とする3次元モデルとその納品ファイル形式を適切に扱えることが前提となる。 また、発注者が本業務の成果の閲覧等に使用する予定のソフトは、AutoCAD Civil 3D、Autodesk InfraWorks及びAutodesk Navisworks (Autodesk社)である。</p> <p style="margin-top: 10px;">2-6-3 BIM/CIM 実施計画書の作成</p> <p>受注者はBIM/CIMの実施内容について協議し決定した結果を「BIM/CIM 実施計画書」として整理し、発注者へ提出する。「BIM/CIM 実施計画書」は「BIM/CIM 取扱要領 2-2 BIM/CIM 実施計画書の作成」に基づき作成する。</p> <p style="margin-top: 10px;">現況地形については、既往の測量結果を用いる。</p> <p style="margin-top: 10px;">2-6-4 3次元モデルの作成</p> <p>受注者はBIM/CIMの目的や実施内容を記載した「BIM/CIM 実施計画書」に基づき3次元モデル（3次元形状データ+属性情報）を作成する。</p> <p style="text-align: center;">9</p> <p style="border: 2px solid yellow; padding: 5px; margin-top: 10px;">現況地形については、既往の測量結果を用いる。</p> <p style="margin-top: 10px;">3次元モデル作成面積は、1 6 9 . 4 0 万m²とし、現況地形については、既往の測量結果を用いる。</p> <p style="margin-top: 10px;">3次元モデル作成面積は1 6 9 . 4 0 万m²とし、現況地形については、既往の測量結果を用いる。</p>	活用内容	活用内容の詳細	出来上がり全体イメージの確認	出来あがりの完成形状を3次元モデルで視覚化すること。 ・受発注者間協議の省力化を図る ・地元説明および現場案内等での工事説明の理解促進を図る ■施工期間の円滑な協議および調整に役立てる 本業務では、R9年度頃の工事用道路等の情報協議において、使用することを想定している。	特定部の確認や情報伝達 (2次元図面の確認補助)	2次元では表現が難しい特定部や3次元の位置情報を視覚化により課題を効率的に伝達できる箇所は、3次元モデルにより関係者の理解促進や2次元図面の精度向上を図る。 本業務では、直轄部の橋梁部と橋梁部の隣接範囲において、直轄部と橋梁シフト部の施工にあたり実際的な施工範囲を確認する。	施工ステップの確認	一連の施工工程のステップごとの3次元モデルで施工可能かどうかを確認する。 本業務では、上工部と橋梁部の隣接範囲及び車線シフト部における施工ステップを確認する。	詳細度	2 0 0 ~ 3 0 0 程度 ^①	属性情報	※1 構造形式からモデルへ構造の形状がわかるモデル	詳細度	2 0 0 ~ 3 0 0 程度 ^②	属性情報	※1 構造形式からモデルへ構造の形状がわかるモデル 3次元形状データが何を表示かを識別する情報をオブジェクトごとに属性情報をして設定する(BIM/CIM 取扱要領「付録資料2 オブジェクト分類」を参照)。
活用内容	活用内容の詳細															
出来上がり全体イメージの確認	出来あがりの完成形状を3次元モデルで視覚化すること。 ・受発注者間協議の省力化を図る ・地元説明および現場案内等での工事説明の理解促進を図る ■施工期間の円滑な協議および調整に役立てる 本業務では、R9年度頃の工事用道路等の情報協議において、使用することを想定している。															
特定部の確認や情報伝達 (2次元図面の確認補助)	2次元では表現が難しい特定部や3次元の位置情報を視覚化により課題を効率的に伝達できる箇所は、3次元モデルにより関係者の理解促進や2次元図面の精度向上を図る。 本業務では、直轄部の橋梁部と橋梁部の隣接範囲において、直轄部と橋梁シフト部の施工にあたり実際的な施工範囲を確認する。															
施工ステップの確認	一連の施工工程のステップごとの3次元モデルで施工可能かどうかを確認する。 本業務では、上工部と橋梁部の隣接範囲及び車線シフト部における施工ステップを確認する。															
詳細度	2 0 0 ~ 3 0 0 程度 ^①															
属性情報	※1 構造形式からモデルへ構造の形状がわかるモデル															
詳細度	2 0 0 ~ 3 0 0 程度 ^②															
属性情報	※1 構造形式からモデルへ構造の形状がわかるモデル 3次元形状データが何を表示かを識別する情報をオブジェクトごとに属性情報をして設定する(BIM/CIM 取扱要領「付録資料2 オブジェクト分類」を参照)。															